

技術情報

長崎県病害虫防除所長

令和6年度病害虫発生予察技術情報第1号

水稲 コブノメイガの飛来・発生状況について

コブノメイガの誘殺が、6月上旬から確認されており、現在の飛来・発生状況は以下のとおりですので、圃場での発生に注意してください。

記

1. 飛来・発生状況

- 6月7日にフェロモントラップ（諫早市）で初誘殺を確認し、その後6月5半旬及び6半旬で誘殺があり、平年より多かった(表)。
- 6月後期の巡回調査（早期水稲 20筆）の結果、早期水稲における食害株率は0.1%（平年 0.0%）であった。10㎡当たり成虫数は0.2頭（同 0.1頭）であった。
- 7月1半旬の県予察圃場（諫早市、無防除）調査の結果、早期水稲における食害株率は0.2%（平年 0.0%）であった。6月6半旬の10㎡当たり成虫数は2.8頭（同 1.2頭）とやや多かった。

表 フェロモントラップによるコブノメイガの誘殺状況(諫早市小船越：県予察圃場設置)

月・日	頭数/日	頭数/半旬	
	令和6年	令和6年	平年
6/6~10	1(6月7日)	1(6月7日)	2.3
6/11~15	0	0	1.9
6/16~20	0	0	1.0
6/21	4	57	14.1
6/22	0		
6/23	10		
6/24	18		
6/25	25		
6/26	16	28	21.1
6/27	7		
6/28	2		
6/29	1		
6/30	2		

2. 防除上注意すべき事項

- 地域や圃場によって発生状況が異なるので注意する。
- 今後も飛来する可能性があるため、飛来及び圃場での発生状況に注意する（飛来状況については、長崎県病害虫防除所ホームページに掲載）。
- 早期水稲で被害が予想される場合は防除の必要性について検討する。
- 薬剤防除を行う場合は、粉剤・液剤では成虫発生最盛期の7～10日後、粒剤では成虫発生最盛期に散布する。

○6月から8月までの3か月間を「農薬危害防止運動月間」と定め、農薬事故を防止する運動を実施しています。

○長崎県病虫害防除所の発行する情報の入手は、インターネットをご利用ください。

「長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病虫害発生予察室

(長崎県病虫害防除所) ホームページ」アドレス

: <https://www.pref.nagasaki.jp/e-nourin/nougi/JPP/index.html>

○この情報に関するお問い合わせ

長崎県農林技術開発センター 環境研究部門 病虫害発生予察室

(長崎県病虫害防除所) TEL : 0957-26-0027

